



＼フレイフレー！高校生！／

# NEWS BOX

がんばろう！ものづくりの力を応援します！



各企業が熱の入った説明を行った（仙南地域）

宮城県では、地元企業の魅力を高校生に伝える取組を行っており、11月1日には「仙台地域ミライ企業図鑑」地域産業説明会（宮城県仙台地方振興事務所主催）が、8日には「仙南地域ものづくり企業説明会」（宮城県大河原地方振興事務所主催）が開催された。1日は仙台地域の6校から約440人、8日は仙南地域の10校から約470人の高校生が参加した。



製品を手にとって説明を聞く高校生たち（仙台地域）

参加した高校生からは「勤務体系や福利厚生など、それぞれの会社の特長を知ることができた」「興味深い話もたくさん教えていただき、働くことの楽しさ、やりがいをおためた勉強できた」「会社の歴史や、働く上での魅力、楽しそうな職場の雰囲気など様々な情報を得ることができた」「今日知った内容を、これからの企業選びに役立てていきたい」との感想が寄せられた。



## 地元企業が魅力を発信

### 仙台地域と仙南地域で 高校生向けの説明会を開催



## 技能五輪・アビリンピックの 選手団結団式を開催

10月24日、「第60回技能五輪全国大会」「第42回全国障害者技能競技大会（全国アビリンピック）」に出場する宮城県選手団の結団式が、宮城県庁行政舎1階ロビーで行われた。技能五輪選手を代表して金野太誓さん（宮城県工業高等学校）、アビリンピック選手を代表して千葉結翔さん（宮城県立支援学校小牛田高等学校）がそれぞれ決意の言葉を述べ、大会に向けて士気を高めた。



宮城県選手団の結団式の様子



## 第4回みやぎ学生自動車整備 技能コンクール

自動車整備士を目指す学生が技術を競う「みやぎ学生自動車整備技能コンクール」が11月20日、仙台高等技術専門学校で行われた。学生の技術習得意欲と技能の向上を目的に、今回で4回目の実施。各校からの応援のほか、小学生や自動車業界関係者など約100人以上を超えるギャラリーを前に県立高等技術専門学校の1年生9人が、「エンジン整備」「シャシ整備」「定期点検作業」の3種目で、時間内の正確性や安全性を競い合った。また、コンクール初のデ



自動車整備技能コンクールの様子

モンストレーション演技として宮城スバル自動車株式会社社の整備士がサスペンション脱着実演を披露した。

## 宮城新卒者等人材確保推進本部からのメッセージ

新型コロナウイルスの影響による企業の事業活動縮小が懸念される中、新規学校卒業者等の皆さまが安定した就職先を確保し、充実した職業生活を送ることができるよう、企業との懸け橋となる各種就職支援および職場定着支援を「就職・採用応援プラン」により推進します。

詳しくは、[宮城労働局ホームページ](#)をご覧ください



Portreport  
刀鍛冶の

# 横顔



法華三郎日本刀鍛錬所  
当代9代目 法華三郎信房（本名 高橋大喜）  
Saburo Nobufusa Hokke

自分の心にうそはつけない  
妥協なく日本刀づくりに打ち込む



「俺が作った刀がどうなのかなんて大概分かんないっしょ。でも、自分の心にうそはつけないさ」。自らが納得のいくものができるまで何度でも作り直す。「刀の収まってない鞘なんかうちにいっぱいあるよ」。自分の打ち上げた刀の出来栄を、それを最も理解する者は自分だという自負、自覚が妥協のない日本刀づくりに直結している。刀鍛冶をなりわいとする家に生まれ、江戸期より続く法華三郎の名を引き継いだ。大和国、現在の奈良県で鎌倉末期に完成し、伊達政宗公が復興させた製法「大和伝」を継承する。大和伝は雄大と評される中反りとしっかりしたつくりが特徴だ。日本刀は鉄を幾度となくたたいて作り上げていくが、その時に現れる模様を地肌という。木を中心から縦断したとき面に現れる、樹心に平行して真っ直ぐ出る木目を柾目というが、日本刀にも柾目肌と呼ばれる地肌がある。柾目肌をつくるためには気が遠くなるほどの時間と繊細さを求められるが「柾目は得意なんだ」とさりと口にする。決して大きくない両の手には、何でも包み込んでしまうような安心感がある。柔らかな笑みが絶えない。